

R6 年度輸送の安全に関する情報

株式会社しまバス

1. 輸送の安全に関する基本的な方針（安全方針）

- ・輸送の安全の確保は全てにおいて最優先します。
- ・関係法令・規則を遵守し、安全安心を第一に事業を行います。
- ・絶えず輸送の安全性の向上に努め、常に見直し改善します。
- ・輸送の安全に関する投資を効率的に行います。

2. 輸送の安全に関する目標と達成状況

	R5 年度目標・達成状況		R6 年度目標
(1) 飲酒運転	0 件	達成 (0 件)	0 件
(2) 重大事故（事故報告規則 2 条）	0 件	達成 (0 件)	0 件
(3) 駐車場内事故	5 件	未達成 (0 件)	0 件
(4) 有責物損事故	12 件	未達成 (0 件)	0 件

3. 自動車事故報告規則第 2 条に規定する事故に関する情報（R6 年度）

件数 0 件（死亡事故 0 件、重傷事故 0 件、軽傷事故 0 件、物損事故 0 件、事故報告書提出件数 0 件、康起因事故 0 件）自動車事故報告規則第 2 条に規定する事故は発生していません

4. 安全管理規程

別添のとおり

5. 輸送の安全の為に講じた措置及び講じようとする措置

- (1) 直近 3 年間の運輸安全マネジメント評価の実施状況
有・無
- (2) 直近 3 年間の民間指定機関における運輸安全マネジメント認定セミナーの受講状況
有 (〇〇年)・無
- (3) ※上記以外に輸送の安全の為に取り組みがあれば、下記の例を参考に記載して下さい。
 - ・ヒヤリ・ハットの収集分析を行うとともに対策を検討して掲示板等に張り、輸送の安全確保に向けた意識の向上を図ります。
 - ・交通安全運動期間中は事故防止運動を実施します。
 - ・「デジタルタコグラフ」の貸切バス全車両搭載し、国土交通省の運行規定に準拠。
 - ・小学生を対象とした、正しいバスの乗り方教室を 1 回開催

6. 輸送の安全に係る情報の伝達体制その他の組織体制

別紙 1 「安全管理体制図」、別紙 2 「重大事故・異常事態・災害発生時の連絡体制図」のとおり

7. 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況（直近年度）

- ・運 転 者に対する教育及び研修の実施回数 R6 年度 5 回
- ・運行管理者に対する教育及び研修の実施回数 R6 年度 0 回
- ・整備管理者に対する教育及び研修の実施回数 R6 年度 0 回

- ・警察関係者を招き安全運転研修を実施
- ・車両火災（消火器取扱いを含む）対応研修（R6 年 8 月）

8. 安全統括管理者に係る情報

安全統括管理者 岩崎 勇登
社内での役職 代表取締役

9. 運転者、運行管理者、整備管理者に係る情報

運転者	雇用形態	正規雇用	正規雇用以外		
		54 人	31 人		
	社会保険等加入者数	健康保険	厚生年金	労災保険	雇用保険
		78 人	70 人	人	78 人
	平均勤続年数	18 年			
	平均給与月額 の水準	正規雇用運転者	正規雇用以外 運転者		
		198,431 円	126,916 円		

※平均勤続年数は直近事業年度における正規雇用運転者が対象（過去に勤務していた他社の勤続年数は含まない）。

※平均給与月額の水準は運輸局ブロック別の報告事業者平均給与月額を基準額とし、直近の基準額と比較して A～Dの中から選択すること。

運行管理者及び整備管理者の人数	運行管理者	運行管理補助者	整備管理者	整備管理補助者
	8 人	1 人	3 人	0 人
内他業務（運転者等）の兼任者数	7 人	1 人	3 人	0 人

10. 事業用自動車に係る情報

区分	車両数	年式		平均車齢	ドライブレコーダー搭載車両導入台数	デジタル式運行記録計搭載車両導入数	ＡＳＶ搭載車両導入台数
		最古	最新				
大型	14	H2 年	H20 年	23 年	14 台	14 台	台
中型	10	H3 年	H18 年	25 年	10 台	10 台	台
小型	3	H7 年	H21 年	24 年	3 台	3 台	台

区分	主な運行の態様 観光輸送（昼間）、観光輸送（夜間）、学校・企業等送迎、冠婚葬祭輸送、乗合高速バス受託、その他のいずれかを記載	任意保険の加入状況	
		対人保険補償額	対物保険補償額
大型		無制限円	500 円
中型		無制限円	500 円
小型		無制限円	500 円